

アマダイ通信NO. 128

(Tile fish network letter)


2019年 元旦

知人・友人各位

来る年も宜しくお願い致します。移民元年？外国人労働者受入れ拡大のため、改正出入国管理法が成立、実質的移民制度を一步進める。少子高齢化による労働力不足に対応するというが、労働力とは言っても、生身の人間、雇用は景気の影響も受ける。期限が来たから、景気が悪くなったから帰ってくれとは簡単にいかない。韓国にも同様の制度があり比較されるが、韓国は若者の就職難で失業率が高く、日本で就職しようと留学する若者も多い。優秀な若者を留学＝就職の形で国外に送り出す一方、海外の安い労働力を入れるのは本末転倒。優秀な若者と外国人低賃金労働者を入れ替える愚策。長期的には国力を損なう。他山の石とすべき。安く働く「者」も人間、安いか？高いか？だけで判断する「もの」ではない。「物」扱いはいずれしっぺ返しを受ける。水は低きに流れ、世界は一つに向かう。

◎クレイジー・リッチ

君よ知るや南の国？シンガポールを舞台に、華人の超富裕層の生活を描いた映画が、世界で大ヒット中。「ただの金持じゃない。頭がおかしくなるほどリッチなんだ」という、映画の中の「クレイジー・リッチ」。そして現実のクレイジー・リッチ、シンガポールの超富裕層一家に生まれ、自身も17才で起業、今は米国で不動産を営むケン・リム(29)は「正確に私たちの暮らしが描写されている。ただ現実の方がもう少し派手かもしれない」という(11月19日朝日新聞朝刊)。

想像力に乏しい庶民には想いも及ばないが、高級ホテルをその場で買い取ったり、ラスベガスの百貨店からプライベートジェット機の迎えが来るツアーに参加、2日間で合計数億円の買い物。世界各地のカジノをプライベートジェットでハシゴ、恋人と二人で乗るため大型旅客機を借りきる。20万シンガポールドル(1シンガポールドル約80円)のトリュフを使った料理、ゴッホの絵が並ぶ家、パーティで現金をばらまく御曹司。85平米の3LDKのマンションでは広過ぎるとダウンサイジングを考え、要介護4の妻は1食490円の宅配弁当、自身は390円のドトールのモーニングサービスや380円の松屋の牛丼で済ませ、休日も食事込み7千円程のゴルフ、仲間と交通費割勘の日帰りスキー、たまのトラピクスやクラブツーリズムの格安海外ツアーで贅沢をした気分のには想像も出来ない世界。

1997年のアジア通貨危機後、シンガポール政府は外国人投資家に永住権を与え、相続税を廃止するなど、富裕層を呼び込む。金持を歓迎する風潮が強まり、富を隠す必要を感じなくなった。富の誇示に屈託のない中国の新興富裕層との交流もこの傾向を強めた。富が可視化されれば格差が問題になり、野党は「格差の広がりや国の団結に影を落とす」と批判。リー・シェンロン首相は「恵まれた人々が富や権力を自慢するのを止めさせなければならない」と国会で演説。「自慢するのを止めさせる」のではなく、格差自体を縮めることが問題ではないのか？日産のゴーンが5年間で100億の報酬を半額と偽り、会社の多額の金を私的に流用、逮捕されたが、この様な「強欲資本主義」こそが、問題ではないのか？つつまじやかに隠すことではなく、生まれに関わらず誰もが望む教育を与えられ、生まれによってではなく、能力に応じて働く機会を与えられ、社会に貢献、貢献を評価され、

評価に応じて対価＝報酬を頂く。報酬に応じ社会の共通経費を、社会保険なども含め広義の「税」として負担、所得の再分配も含め、全ての社会構成員に人間的・文化的な生活を営む権利が保障される。多額の報酬を得る者はその社会のシステムをより多く利用、より多くの利益を得るのだから、その存続と利便性向上のためにより多く負担すべきだ。

1991年のベルリンの壁崩壊に続くソ連邦の崩壊で資本主義と「社会主義」の体制間競争に決着がつくと、資本主義は一時の「つつましさ」を捨て、強欲性を剥き出し、グローバル化を進め、国際競争の強化を旗印として法人税の軽減、所得税の軽減・累進性の緩和、相続税の軽減・累進性の緩和、更には廃止する国まで現れ、金持の税負担の緩和が進む。逆に消費税UP、逆累進課税、大衆課税が進み、格差は拡大、一部のスーパーリッチに富が集中、中間層が解体、膨大な底辺層と二極分解、再び二大階級が厳しく対峙する時代が来るのか？人類は叡智を発揮、その対立を止揚することが出来るのか？

◎「まんぷく」・ハラハラドキドキワクワク、起業ほど楽しいものはない！

ゴルフ日和の日曜日、埼玉の小川カントリー、カートに乗らず歩くゴルフ貫徹も、スコアは56、57と冴えず。関越道三芳パーキングで弁当を買い夕食。日曜日はOMCガード（旧ダイエーのカード）利用で5%引きのマルエツで日用品や食料をまとめ買い、主婦感覚。月曜日5時過ぎに起きて食事づくり。要介護4の妻が食べるのも手伝い、掃除、洗濯、風呂掃除まで。朝日新聞を読む暇なしも、しっかりNHKの朝の連続ドラマ「まんぷく」は見る。

「マッサン」はニッカウイスキーの創業物語。前々回の「べっぴんさん」は女性4人によるファミリアの創業物語。今回はチキンラーメンの日清食品の創業譚。起業は面白い。失敗を繰り返し、壁に突き当たりながら、一つ一つ問題を解決。無から有を創り、「人のため役に立つ」。キリキリ胸が痛むような緊張感が堪らないが、リスクも大きく、心臓の弱い方には勧められない。人のため役に立つから対価も頂き、社員を食べさせ、設備投資も出来、事業も拡張、より多く人の役に立ち、更に事業を拡大、成功する。沢山の人間模様を挟み、ハラハラドキドキの連続で遂にはハッピーエンド、大団円の結果オーライ。権力を奪取、国家を丸ごと創り変える「革命」にも通じ、起業ほど面白いものはない。

理想に燃える若き🐼も、「能力に応じて働き、働きに応じて取る」社会、更にその先の「能力に応じて働き、必要に応じて取る」、裕か自由、平等な社会の実現を目指し、革命運動に身を投じる。軍需品の横流しの汚名を着せられ憲兵による拷問を受け、反乱容疑でMPに獄につながれる「まんぷく」の万平君よろしく、7回警察の臭い飯を食い、足掛け3年中野刑務所の独房に拘禁されても意気軒昂、「私をとるか？革命をとるか？」恋人に迫られたのは二十歳の春。「女のために革命を捨てられるか！」、別れてまで闘った革命運動も、時に利あらず、一敗地にまみれる。敗れても市民社会のシステムに組み込まれる気にならず、家庭教師や学習塾の教師のアルバイトで生業を立て、更に塾や教材会社を起業、40才までフリーター。短時間で効率よく稼ぎ、並みのサラリーマン以上の収入は得ても、口にチャックして役所や大会社に入り、課長や部長として実力を発揮、活躍するかつての仲間は何故か気後れを感じる。再び社会性を獲得せんと40才でようやくサラリーマンに。はみ出し者にはサラリーマンは10年しか続かず、起業する羽目に。50才で「地下ダム工法」の起業に参画、最近では「ウッドプラスチック」を共同創業、起業の醍醐味を満喫する。現在の飯の種、「情報仲介・営業コンサルタント業」も起業して20年。高層ビルの外壁を

売るよりエコビジネスの方が社会的意義がある、社会の役に立てると 10 年続けたサラリーマン生活を止め、誘われて「地下ダム工法」の起業に参画。意気込む程には売れず、資金不足で敢えなく討ち死に。前職の高橋カーテンウォールで自身のネットワークが役に立ち、バブル崩壊で民間の大規模建築プロジェクトが尻すぼみとなる中で、「銀杏印」の同窓の多い官公庁や JR、NTT、UR、NHK、大手民間企業などの営業に本人も驚く威力を発揮。退職に当たり引き留められた。お互い必要な筈。飯の種が尽き、窮余の策で、社長に相談、営業顧問にして貰う。成功報酬だけでは飢え死にする。お互いがリスクを負い、当座の活動を保障する月々の顧問料、出張旅費と成功報酬を頂く。日本 Victor の寮の先輩が心配して、外壁に PC のカーテンウォールを使うような高層ビルには必ず Victor の AV 機器や館内放送、会議システムがある。売り先が同じだから一緒に売れ！と、Victor の顧問にもして貰う。更に Victor 製品を販売する因幡電機の顧問にもして貰うという、思いがけぬ連鎖。三鷹寮の先輩の鉄鋼商社阪和興業の北社長からも、「顔が広そうだからうちの営業も手伝え！」と顧問にして貰う。人の繋がり有り難さに感謝しつつ、20 年余。人の役に立ちたいという一念とネットワーク、売るものと、多少のスキルがあり、多くの人に助けられながら、無手勝流の不思議な商売で生業を立てる。

◎介護人、東海道走るも、房総に亡走出来ず！

昼と夕方 30 分ずつヘルパーさんが食事と服薬介助に来てくれ、昼食と夕食は宅配弁当が食卓まで届き大分楽に。朝一緒にパンとお餅を其々食べ、具沢山の二種の特製スープと果物、☛はコーヒー、妻は甜茶を飲む。果物はバナナ、皮付き種無しブドウ、カットパイナップルが面倒臭くなくていい。日清医療食品の 1 食 5 百円の冷凍弁当は味が薄く不味いと止めたが、区の社会福祉協議会の、ご飯とおかずは別々の三段重ね、お碗入り味噌汁付き、490 円の弁当は、ばらつきがあると言いながらも食べる。見守りを兼ねテーブルまで運んでくれてこの値段。週に 2 度在宅リハビリ、理学療法士がイケメンと妻はニコニコ、看護婦と薬剤師が週一度、医師が隔週に一度訪問。朝食は☛が用意するので泊まり掛けの出張や旅行は無理だが、新幹線での日帰り出張は大丈夫、どうにか仕事は続ける。酔っ払って鍵無しの玄関ドアを開けると、妻は無事に寝息を立てている。

房総の古いリゾートマンションを安く手に入れ、娘達はたまに利用、鴨川シーワールドやマザー牧場は孫息子も大好きだが、海彦☛は行けず。歩行器や車椅子だけでなく、手摺も増やし、ヘルパーさんや看護師、薬剤師、医師の訪問サービスも始まる。介護弁当も昼と夕食に宅配され、一息付く。以前の様に朝食もお米を研ぎ、ご飯のスイッチを入れ、レトルトのカレーや鰻を湯煎して丼ご飯をつくって貰い、作りおきの具沢山のスープやカットフルーツを用意すれば、朝も一人でどうにかならないか？週末泊まりがけでオーシャンビューの書齋で読書三昧、朝夕は海岸通をサイクリング、潮騒を聴きながら浜辺を散歩、夜は江見の一駅鴨川寄りの太海の別荘で棚田と素潜り三昧の中学・高校同期、千葉市に住む龍角散 OB の加賀君と一献傾け、房総族出来ないか？土曜日朝、食事を食べさせ、風呂と一緒に入り三助する。互いのお腹の具合にあらためて歳月を感じる。信州八方尾根スキー場の山頂直下、黒菱平の白い急斜面で出会って半世紀近く、一人ではこんなにも出来ない。前夜の酔夢は吹き飛ばす。房総に亡走出来ず。

11 月下旬の 3 連休、幸い天気予報では山は雪。泊まりがけが無理なら、半日でも日帰り

スキーを楽しめないか？時に弛く、時にエッジを効かせ鋭く、白無垢の処女雪にシュプールを描き、絶壁に身を翻し、粉雪を撒き散らしジャンプ。スピードとスリル、ダイナミズムを堪能出来るのは活きている証。23日からオープン予定の、越後湯沢のかぐら三俣スキー場に電話するが、まだ20センチくらいの雪で滑走は無理という。11月3日の文化の日に紅葉狩りに行き、ジーンズと革ジャンでスキーを楽しんだことのある、谷川岳天神平スキー場にも電話するが駄目という。リュックに海パンを入れ、月島まで一駅分サイクリング。久し振り図書館で日経ビジネス、プールでノンストップで40分、千m泳ぎ、三越まで銀チャリ。キッチンオリジンの惣菜をあてに一杯だけでは飽きる。デパ地下で惣菜弁当を買って帰る。経済誌とプール、チャリンコの、久し振りゆったり落ち着いた休日。

◎国産生ハム食べたことありますか？・・豚飼う人、豚喰う人、捌く人！

顧問先から赤坂のスペイン料理屋で御馳走になり、いぶりガッコと生ハムのお土産まで頂く。帰り、千代田線から霞が関で乗り換えた有楽町線、終点の新木場で起こされる。スペイン料理屋グランヴィアを経営する能代高校後輩の金子君、スペイン料理熱が昂じ自分の手で生ハムを作りたいと、故郷秋田は田沢湖畔の牧場で200頭の豚を放し飼い、ハム工場も経営、出来た生ハムを赤坂のレストランで食べさせる。

冬は豚を放し飼い出来ないし、生ハムの熟成に2、3年かかるから、大変じゃない？と聞くと、豚は半年で親豚になり、ハムにする後足以外は生肉で販売、現金化出来、冬場は生ハムの加工に専念する。確か鎌倉ハムや大多摩ハムなども生ハムを売っているがと言うと、生ハムと言っても熟成に時間をかけない促成で、2年、3年かけて燻し、熟成させる、本当の生ハムは日本では彼のハムだけだという。大々的に売っている訳ではないが、自分の牧場で毎年生産する400本の後足だけでは足りず、他からも仕入れてつくると言う。

広い土地ときれいな水があれば大丈夫という。秋田の実家の廃耕田やスキー場もいい。スキー場なら、豚飼いや人が冬場はスキー場で働ける。資金も必要だが、クラウドファンディングで通信の読者から出資を募ったり、全国展開出来ないか？勝手に夢が膨らむ。「それは単なる思い付き！」とよく言うが、全ての物事は「思い付き」から始まる。どこまで膨らむか？それが問題。夢は人を夢中にさせる。無数の夢を！いつでも夢を！いつまでも夢を！「夢と夢、夢と人をつなぎ、夢を形にする」！本物の美味しい国産生ハムを食べたい方は「赤坂のスペイン料理屋グランヴィア」で検索するか、03-6277-8621にTELを！

のユージージランド紀行（Ⅱ）

（'16.05.01～08, トラピックス, 新・まるごとニュージーランド8日間）

③牛乳屋の革チャン

4日目は先ず、ロトルアの街から車で10分ほどの、空に向かって真っ直ぐに伸びるカリフォルニア・レッドウッド（セコイア杉）が林立するレッドウッド・フォレストへ。広大な森の、幾つもある中の最短のハイキングコースながら、爽やかな空気の森林浴を楽しむ。1900年代初頭に植えられたらしいが、成長が早くうっそうとした森となる。巨木が陽光を遮り、下草も少ない。外来の巨木の間で遠慮しているのか、大きくなれない在来の木生シダ類だが、レッドウッドが途切れ、陽光が燦々と降り注ぐ一画では伸び伸びと繁茂。昔、京都出張の朝、時間があるから散歩でもと、京都駅前のホテルから東山の森に分け入り、

迷った末に太閤神社に降りたことがあったが、それに似た、うっそうとした神秘的な雰囲気。荘厳性では東山が優る。

途中トイレがなく、ニュージーランドでは雉もないので、雉打ちに行く訳にも行かず！？群れを足早に離れ、出発地点のトイレに急ぐ。丸い、可愛いデザインの、それぞれ独立した屋根付きの丸いトイレブースには、変わったことに便器が2台ずつ並ぶ。ニュージーランドのトイレは並べて綺麗だが、男子トイレの小用は朝顔ではなく、三方をステンレスの板で囲った、側溝方式が多い。大昔の学校の不衛生な男子トイレや中国の大小共用の目も憚る、鼻持ちならないトイレを思い出すが、ニュージーランドの男子トイレは常時上部から水を流し、清潔で衛生的だ。日本の朝顔の前には「一步前へ！」なんて書いてあり、管理者の苦勞を感じさせるが、ニュージーランドの様に、側溝の上にステンレスの網板を敷いて「足元」とすれば、管理も容易なのではないか？願わくばニュージーランドでもウォシュレットを普及、柔になった日本人のお尻を旅先でも労って貰えると嬉しい。更に言えば、人口希薄故かトイレが少ない、増やして欲しい。2時間、2百キロ以上もノンストップ、トイレなしで走らなければならないのはしんどい。日本から、道の駅を輸出してはどうか？輸出と言えば日本からの輸入が多い車だが、この駐車場ではトヨタと日産が各5台、キアが3台、ホンダ、三菱、マツダ、現代、それに中国製？(プジョーとは違う)ライオンの頭のブランドが各2台、スバルが1台、20台中13台が日本製。

次いでアグロドームへ。19種もの羊が壇上の指定席に駆け昇り、餌を貰い、大人しく座る。こんなに種類があるとは。次いで羊の毛刈ショー。電気バリカンであつという間に羊は丸裸にされるが、大人しい。「羊のように」が、大人しいの枕言葉なのは古今東西変わらない。牧羊犬も登場、羊の背中を飛び回って気を吐くが、オーストリアで去年の夏見た、野外で羊の群れを自在に操るショーの方が迫力がある。乳牛も登場、乳搾りショーも。毛刈といい、搾乳りといい、ショーに出来るのは、世界中で珍しい行為になったからか。貧しかった子供の頃、村中で綿羊が飼われ、焼鉄での子羊の尻尾切り、我が家のオス緬洋による村中の雌緬洋の種付、毛刈が我が家の庭で行われ、夜は客間をぶち抜いた広間で紡績会社のバイヤーとの商談が行われた。物好きな親父はホルスタインも1頭飼い、毎朝乳を絞って煮沸、瓶に詰めて村中配って歩くのが、子供達の日課だった。

④庭園の街に残る地震の傷跡

ロトルアの空港から双発、片側2席ずつのプロペラ機で人口25万人、南島最大の都市、経済・文化の中心地東海岸のクライストチャーチに向かう。国内便は荷物チェックがない。雲が途切れ、洋上から緑のカンタベリー平野が目に入る。意に反して広大な平野は牧野ではなく、整然と区画された耕地だ。小麦や野菜、砂糖をとる甜菜(砂糖大根)が栽培される。クライストチャーチはエイボン川が街の中央を流れ、緑豊かな歴史的建築物と自然が見事に調和し、「ガーデン・シティ(庭園の街)」と称される。高校のグラウンドではラグビーの練習。あちこちにラグビー場がある。さすがラグビー王国だ。

先ず一般家庭のHallamsさん宅を訪問する。60歳前後だろうか、きれいなご婦人が1人で迎えてくれる。キッチンで手作りのサンドイッチ、スコーン、紅茶、コーヒーで歓待してくれる。もう少し欲しい感じだが、これが今日のお昼だという。わざわざ外国人に見せるくらいだから、綺麗に暮らしている。それに広い。キッチンも14人どうにか全員座れて、

隣が広いリビング、2階が寝室、キッチンとリビングを見渡せる中二階に別にダイニング。芝生の前庭の横に車庫、車庫奥に裏庭。藤棚の下でバーベキューを楽しみ、竈もありピザも焼ける。一般勤労者のお宅だという。土地の割に人口が少なく、人間より羊の数が多しニュージーランドだが、土地が安く、ゆったり住めるなら、人口減少も悪くない。

バスに戻ると、丁度小学校の下校時、裸足で帰る者もいれば、キックボードに乗る者も。建築中の住宅も多いが、垂木より太めの木材と合板を釘と接着剤で接合したパネルを組立てる、ツーバイフォー工法が多い。街の中央に近づくにつれビルが増えるが、まだ更地や駐車場のままの土地も多い。あちこちで道路工事も進むが地震の傷跡も残る。名物のレトロなトラム（路面電車）が走り、南北に広がる街の中心、再建方針が決まらず壊れたままの大聖堂の広場から歩いて5分ほど、エイボン川が流れ、季節の花々が観賞出来る182ヘクタールと広いハグレー公園。市民の憩いの場の広い公園を後にしてマウントクックハマージェットホテルへ。両脇に公園や柳の並木が整然と並ぶエイボン川に沿ってバスは走る。

3千m級の山々が連なり、多くの氷河の流れるサザンアルプスは、ニュージーランド観光のハイライト。最高峰がマウントクック。麓のホテルまで330キロ、5時間半の長旅。道路と並行して鉄道。東岸のクライストチャーチと西岸のクレイマウスを結び、片道4時間半の観光列車と貨物列車が日に1往復ずつ走る。遮断機のない踏切で一時停止。人口密度の低い国では旅客列車は採算を取るのが難しいのか？旅客鉄道のネットワークが出来上がる前に道路網が発達したのか？人口密度の薄い所では、大量輸送向きの鉄道より、少人数で自在に移動出来る車がいいのか？日本でも過疎地では鉄道の廃線や老人や子供など交通弱者の移動をどうするか？福祉タクシーやライドシェアの可否などが問題になるが、ニュージーランドではどうか？平坦なカンタベリー平野をバスは高速で走る。家はまばらになり、ブドウ畑の黄葉が綺麗。ワインもつくられる。川辺に続くポプラ並木の黄葉も綺麗。タカアシ蟹のような背の高いどかいスプリンクラーがあちこちにある。小麦の他にカブ、ビート、ジャガイモなどが栽培され、カボチャは北半球の日本にも輸出される。なだらかな平野がうねりだすと、一面の牧草畑。所々に白い羊が群れる。ニュージーランドは豊かな酪農国家、農業国家。チーズやバターなどの乳製品、キーウイなどの果物も日本に輸出される。広い畑の一面に立派な邸宅を構え点在する農家は、この国のエリート。猫の額の土地にしがみつき兼業、主たる収入源は農業ではないのに、農業経営は大変だから補助金寄こせ！米価上げろ！と要求するのに忙しいどこかの国の農家とは大違い。今の日本の政治では少子高齢化、過疎化は否応なく進み、農村に住む人間は極端に少なくなる。その時こそ日本農業再生のチャンス。戸当たりの可耕地を増やし、生産性を高め、豊かな水資源を農作物に変え、世界に輸出、そんな日がきつと来る。豊かな農家を産み出す小さな島国、火山国、地震国ニュージーランドの山道でバスに揺られ、夢見る。(続く)

◎エネルギー問題を考える・東大三鷹クラブ第142回定例懇談会のご案内

平成31年最初の三鷹クラブ定例会、東京電力ホールディングス会長の川村隆さん（昭和33年入寮）のエネルギー問題をテーマにしたお話を聴きます。川村さんは北海道生まれ、札幌西高から東大に入り、三鷹寮入寮。三鷹では寮委員などの経験は無く、専ら学業中心の真面目な理科I類生で終始し、毎日通学バスで駒場に精勤。工学部電気工学科に進み、

卒業後日立製作所に就職しました。川村さんが三鷹寮に入った昭和33年は、戦後日本経済が成長軌道に乗り始めた時期で、地方の高校出の青年達が起居を共にすることで新たな友情を育み、寮生活自体に喜び、楽しみを見出すようになりました。寮の周囲には武蔵野の風情が色濃く残り、旧制一高の寮歌「新壘の（にいはりの）」が、寮生の間で愛唱され始めたのもこの頃でした。

日立に入った川村さんは、まず電力設計部に所属、有能な技術者として次第に頭角を現わし、各地の大きな発電所建設など重要な業務で実績を重ね、平成3年、三鷹クラブが結成された頃には、日立工場長の職にありました。程なく取締役会に名を連らね、平成11年には副社長に昇進。その直後、北海道出張時に、ハイジャックされた全日空機に乗り合わせ、機長が殺害されるなど、墜落の危機を体験。平成15年、副社長を退任した後は、いくつかの子会社の会長職を歴任。職業人生に大きな転機が訪れたのは平成21年。リーマンショック等の影響で深刻な経営危機に見舞われた会社の再建責任者として、日立本社に呼び戻され、当初1年間は会長兼社長として、その後4年間は会長専任で、平成26年に退任するまで様々な改革の陣頭指揮にあたり、V字回復と呼ばれる画期的な経営立直しを成し遂げました。三鷹クラブでは、平成22年11月の第93回定例会で講演して頂き、その際、ハイジャックによる危機体験などを折り交ぜた経営理念、そして、経営者の立場から日本の将来についての視野の広い論旨を展開され、私自身、深い感銘を受けました。

そして昨年、川村さんは、更なる大役に指名されました。福島原発の事故以来、危機的経営を余儀なくされている東京電力の会長就任を要請されました。新しい企業風土で、トップとして難しい舵取りにあたるのは、大変な苦勞があると思います。今回の講演をお願いした時、「悪戦苦闘しております」と述べておられましたが、まさにその一言に言い表わされています。しかし、就任以来1年余ですが、川村さんはじめ新しい経営陣の懸命な努力によって、少なくとも世間の東京電力に対する見方は変わりつつあり、また、会社内部でも新たな力が生まれて来ているように感じられます。

エネルギー問題は、日本の極めて重要な、そして困難な課題です。前回の講演の中で、川村さんは、この問題についても、卓越した見識を示しておられましたが、エネルギー政策を産業・社会に展開する最大の企業としての東京電力での体験を加え、短い時間ですが、どのようなお話をしていただけるか、皆様とともに楽しみにしています。（平賀 記）

日 時：平成31年1月15日（火） 18時30分～21時

場 所：学士会館本館203号室（千代田区神田錦町3-28 TEL 03-3292-5931）

会 費：6000円（会場費、夕食代・飲み物代、通信費など込み）

二次会：別途有志による二次会を、すずらん通の中国料理店 SANKOUEN にて開催予定

定 員：50名（先着順：定員を超えない限り特に連絡は致しません）

申込先：平賀・干場 FAX 03-5689-8192 TEL 03-5689-8182

（有）ティエフネットワーク Email：tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp

◎ミュージックフェア・・・歌娘の露出度上がる！

「ご無沙汰しております。お変わりないでしょうか？今夜のテレビ出演では東大や三鷹寮についても紹介されます。良かったらぜひご覧下さい！」と11月5日（月）21時からBS日テレ「恋するクラシック」に出演すると、我が歌娘、シドニー大学からの交換留学生

Sarah Alainn (2008年入寮)からメール。「サラちゃん、🐟です。飲み会がなかったので、早く帰宅、久し振り我が娘とデートしました。出来れば1、2週間前に教えて頂ければ、アマダイ通信のメール会員4千人に発信できるのですが。宜しく！」と返す。

「あら、お嬢さんとデートとは、素敵♡、テレビがいつもギリギリの収録と告知で…次の告知は早めにするのが許されたので、よかったですね！11/24 フジテレビ「MUSIC FAIR」出演、森山良子さん、新妻聖子さん、平原綾香さんと4人のソロイストと一緒に歌う、珍しい企画！12/2 テレ朝「関ジャム」出演、フィギュアスケート音楽特集で、関ジャニ∞とオペラ座の怪人をデュエットします。12/15 BS-TBS「Sound Inn “S”年末特番」加山雄三さん、谷村さんとコラボ」と、新しい出演案内。

すかさず、「サラちゃん、🐟です。最近、テレビ出演の機会が増えたようですが、そう言う縛りがあるんですね！今日はアシスタントが休みで、4千人のアマダイ通信読者に一斉送信出来ないのが残念ですが、ジャパニーズパパとして出来る範囲で案内しておきます。テレビ出演以外の案内も事前に送ってくれば、流しておきます！娘や孫娘だけでなく、婚外娘ともジャパニーズパパとしてはデートしないといけませんね！赤坂のTBSテレビの近くで、能代高校の後輩がスペイン料理屋をやっています。病が昂じて故郷秋田の田沢湖畔で豚200頭飼育生ハムを作っています。一緒に食べに行きませんか？」と誘う。

「Japanese Father と中々会えず残念です！最近寝る時間がないほど毎日目まぐるしくて。ボーイフレンドももちろんできません！来年もう少し落ち着いたスケージュールになればぜひ。先週はイタリアから鹿児島、北九州、福岡と行き、今東京に戻り明後日から熊本、八ヶ岳にまいります！」と、ようやく「父親」として認知。それにしても忙しい！

◎キスのお化けに注意！

夕方、神田すずらん通りの中華レストラン三幸園で飲み会、イタリアローマ大学からの交換留学生ディエゴ君の詩集「元カノのキスの化け物」の出版記念会。寮で1年上の辰さん、打林さん、打林さんが東京銀杏会で顔馴染み、前回の千代田区長選に出た若い後輩、コンサルの五十嵐君を誘ってくれ、更に五十嵐君が同業、武漢大学出の、日本からイギリスに飛び出し、又日本に戻って来た若い女性の車さんを誘ってくれ、話は世界に飛ぶ。

違う彼と居る彼女をみかけることが痛いのではない/苦しいのは 違う彼と居る幸せな彼女を見ること それだけだろう/神々の仕業なのか悪魔の呪いなのか/抱き締めあって口で心を交わし合う夢には未だに貴女(きみ)が現れる/言うに言われぬやさしさの中で俺は元カノのキスの化け物に襲われる/新鮮な日差しでめが覚めない限り (ディエゴ)

◎終わりに(結びに代えて)

日本で歌手デビューした我が歌娘 Sarah Alainn、日本語の詩集を出版したディエゴ君、東大で学び、三鷹寮に住み、🐟もお付き合いしている日本大好き留学生達が、卒業後日本に戻り、才能を花咲かせ始めている。我が第二の故郷、三鷹の地から花咲く異国の才能達と日本の学生達をつなぎ大輪のグローバルネットワークを形成、世界の繁栄と平和のために、🐟も多少とも貢献出来ると嬉しい。12月1日(日)、恒例となった三鷹寮での「東大三鷹国際学生宿舎生と三鷹市民の集い」に1年先輩の辰さんと参加。三鷹市と教養学部の地道な努力も与り、駒場から、三鷹の地から、より大輪の花が咲かんことを！(再見)